

平成 2 7 年第 3 回臨時会

教育福祉常任委員会
会 議 録

期日：平成 2 7 年 7 月 2 7 日（月）

場所：大曲庁舎 3 階 第 1 委員会室

大 仙 市 議 会

大仙市議会教育福祉常任委員会会議録

日 時

平成27年7月27日（月曜日） 午前10時40分～午前10時48分

会 場

大仙市役所 3階 第1委員会室

出席議員（7人）

| | | |
|----------|----------|----------|
| 3番 細谷洋造 | 5番 後藤 健 | 10番 小山緑郎 |
| 12番 佐藤芳雄 | 21番 児玉裕一 | 24番 大山利吉 |

欠席議員（1人） 7番 石塚 柏

説明のため出席した者

| | |
|---------------|----------------------|
| 健康福祉部長 小野地淳司 | 健康福祉部次長兼福祉事務所長 大屋敷忠之 |
| 社会福祉課長 関 寛道 | 社会福祉課参事 進藤春海 |
| 社会福祉課副主幹 山崎兼人 | |

議会事務局職員出席者

| |
|------------|
| 副 主 幹 齋藤孝文 |
|------------|

審議案件

第1 議案第88号 平成27年度大仙市一般会計補正予算（第3号）

午前10時40分 開 会

○委員長（小山緑郎） みなさんおはようございます。本日は大変ご多用のところ、お集まりいただきましてありがとうございます。えー、まあ天気の方毎日暑いわけですけども、台風12号の方も温帯低気圧に変わり、その後東北も梅雨明けするのがなって、こう思っているところでもあります。また、先日は教育福祉常任委員会の視察研修つちゅうごどで、ご苦労様でした。ご協力を頂きまして、無事視察を終えることができました、感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。それでは、ただいまから教育福祉常任委員会を開会いたします。なお、欠席の届け出が7番石塚柏委員よりありますので、ご報告いたします。当委員会に付託された事件につきましては、別紙日程表のとおり審査いたしますので、よろしく願いいたします。なお、正確な会議録作成のため、発言はマイクにスイッチを入れてからお願いしたいと思います。審査に入る前に、当局からあいさつをいただきます。小野地健康福祉部長お願いします。はい、小野地部長。

○健康福祉部長（小野地淳司） おはようございます。それでは、今次臨時議会に上程しております健康福祉部所管の議案であります、平成27年度一般会計補正予算で、社会福祉法人柏仁会が計画しております、認知症対応型共同生活介護事業所の増床に伴う、経費の一部を県補助金により助成するため、その所要額の補正をお願いするものでございます。この後、担当課長より詳細について説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

○委員長（小山緑郎） はい、ありがとうございました。それでは審査に入ります。議案第88号「平成27年度一般会計補正予算（第3号）」を議題といたします。当局の説明を求めます。関社会福祉課長。はい、関課長。

○社会福祉課長（関寛道） それでは、ご説明をさせていただきます。議案第88号「平成27年度大仙市一般会計補正予算（第3号）」の内、社会福祉課所管分についてご説明を申し上げます。資料No.2（7月補正）に係る補正予算書の7ページと8ページ、それから資料No.2-1 主な事業の説明書1ページをお願いいたします。3款1項7目「老人福祉施設費」63事業「大仙市地域密着型サービス事業所整備事業費補助金」につきましては、社会福祉法人柏仁会が計画しております認知症対応型共同生活介護事業所「ありす刈和野」の1ユニット、1ユニットでございますので9利用定員でございますけれ

ども、その増床整備工事費とこれに伴う開設準備経費の一部を、地域の介護サービス基盤整備、基盤の充実を目的に助成しようとするものでございます。助成額につきましては、建設費部分につきましては1施設あたり3千2百万円、開設準備経費部分につきましては、定員単価62万1千円に増床定員の9名を乗じた5百58万9千円をそれぞれ上限といたしております。以上を踏まえまして、合計で3千7百58万9千円の予算補正をお願いするものでございます。なお、これに要する財源につきましては、全額、県補助金でございます。以上で説明を終わります。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いを申し上げます。

○委員長（小山緑郎） はい、それでは、ただいまの説明に対しまして、質疑がございましたらお願いしたいとおもいます。はい、後藤委員。

○委員（後藤健） はい。これちょっと、教えて欲しいんですけど。これ結局、県の事業になるってことですか。

○委員長（小山緑郎） 関課長。

○社会福祉課長（関寛道） 財源はあの県費でございますけれども、その県費を市の方で受けまして、市の事業として行うということになります。したがって、よく申します、いわゆるトンネル事業と申しますか、そういう形になります。

○委員長（小山緑郎） いいが。はい、後藤委員。

○委員（後藤健） これは、この「大仙市地域密着型サービス事業所整備事業費補助金交付要綱」ってのは、これ仮称ってなってますけれども、これはそうすればその、県の補助金を受けるためにこの要綱をまず設定して、それでもって出してやるっていう考え方でいいやندすかな。

○委員長（小山緑郎） はい、関課長。

○社会福祉課長（関寛道） そういうことになります。で、仮称と申し、しておりますのは、大体事業主の全貌というものははっきりしておりまして、それで市の方では一応それを想定いたしまして補助要綱を作成しておりましたけれども、ただまずこの段階で県の補助要綱がまだ確立しておりませんでしたので、一応仮称というふうにさせていただいておりました。はい。

○委員長（小山緑郎） いいすかな。他にございませんか。はい、大山委員。

○委員（大山利吉） 課長、あの、すいません。場所、増床分。玄関の前の方さ増床する。どごさ増床するどごさですか。

- 委員長（小山緑郎） 関課長。
- 社会福祉課長（関寛道） 今のあの、いわゆる障がい者部分の所とそれからグループホームの部分ということで、合築状態になってるんですけども、その、前、前、前なるすかな。
- 健康福祉部長（小野地淳司） 玄関の左っかわだすな。
- 委員（大山利吉） んだべ。だから玄関の前。あれ、工事用のプレハブ建てでのごさ、建てるっつやづだが。
- 社会福祉課長（関寛道） そうです、はい。
俺だ見に行ったどぎの。んだよな。あのプレハブあるどごろさ、何だが行ったどぎな、ここもやがて建つどがって言ったっけがら、あそこだべな。
- 社会福祉課長（関寛道） はい。
- 委員（大山利吉） あそこさ、へば9床。
- 社会福祉課長（関寛道） そうです。
- 委員（大山利吉） ほう、増築するわけだな。
- 社会福祉課長（関寛道） はい。
- 委員（大山利吉） ああ、んだ。これはへば建設費のテンパー。というごどではねえよな。
- 社会福祉課長（関寛道） はい、そうです。これにつきましては、10%とかっていうことではなくて、定額で1施設3,200万という建設。
- 委員（大山利吉） 決まってるごどだがらな。
- 社会福祉課長（関寛道） はい、そうです。
- 委員（大山利吉） 工事費関係なくな。
- 社会福祉課長（関寛道） そうです。
- 委員（大山利吉） んだすな。一律でこれだっちゅうことだな。
- 社会福祉課長（関寛道） そうです。
- 委員（大山利吉） はい、わかりました。
- 委員長（小山緑郎） 他にございませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

- 委員長（小山緑郎） ないようですので、質疑を終結いたします。これより討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 (小山緑郎) 討論なしと認めます。これより採決いたします。本件は、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 (小山緑郎) 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長 (小山緑郎) 以上で、当委員会に審査付託となりました議案の審査は、終了いたしました。なお、本委員会の「審査報告書」及び「委員長報告」の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 (小山緑郎) ご異議なしと認め、そのように決しました。

○委員長 (小山緑郎) これをもちまして、教育福祉常任委員会を閉会いたします。大変ご苦勞様でした。

(閉 会 午前10時48分)

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

教育福祉常任委員会委員長 小 山 緑 郎